

高森町議会だより

PARLIAMENTARY INFORMATION

5年

正・副議長就任あいさつ……2
6月定例会……3
町政を問う(一般質問)……6
第2回臨時会……9
町民の声……11



令和5年8月発行
No.89
6月定例会



正・副議長就任あいさつ



高森町議会議長
牛嶋 津世志

年齢も40代が2名、50代が2名となり若返りました。

また、町執行部の職員も40代で管理職に成られるなど高森町の行政、議会から新しい風が吹いてくれるのを期待します。

高森町の良き伝統・文化は継承しつつ、少子高齢化、過疎化対策等問題は山積みではありますが、行政・議会の両輪で舵取りしていく所存ですので宜しくお願いいたします。

最後に町民の皆様、先の地方統一選挙では大変お世話になりました。今後もしろんな選挙があります、ぜひ投票に行かれることをお願いして議長就任の挨拶といたします。



高森町議会副議長
本田 生一

高森町議会副議長に就任いたしました本田生一です。

今回の選挙で、当選されました草村町長、また議員の皆様には心からお喜びと御祝いを申し上げます。誠におめでとうございます。

今回の選挙におきましては、町民の皆様方からの現職議員に対する厳しい審判がなされた結果ではなかったかと思えます。

今後におきましては、早く町民の皆様方に議会のみとまりと一致団結した姿をお見せし、町民の皆様方からの信頼回復が第一かと思えます。その為には議員一丸となってこれからの高森町の発展の為に頑張つてまいります。議長の補佐として、また議員のまとめ役として執行部とも連携しながら頑張つてまいりますので今後もしろしくお願い申し上げます。

第21代高森町議会議長に選出されました、

牛嶋津世志でございます。

議員3期目での議長という事で大変身の引き締まる思いです。

今回の選挙で5名の新しい議員が当選され、

議会構成表

議長 牛嶋津世志

副議長 本田 生一

常任委員会

議会運営委員会	
委員長	後藤 巖
副委員長	後藤 三治
委員	本田 生一
〃	佐伯 金也

総務文教常任委員会	
委員長	後藤 巖
副委員長	甲斐 節男
委員	児玉幸之助
〃	佐藤 武文
〃	本田 生一

産業厚生常任委員会	
委員長	後藤 三治
副委員長	白石 豊和
委員	武田 栄喜
〃	牛嶋津世志
〃	佐伯 金也

監査委員 (議員選出)	
佐伯 金也	

阿蘇広域行政 事務組合 議会議員	
武田 栄喜	本田 生一
佐伯 金也	

特別委員会

議会広報特別委員会	
委員長	後藤 巖
副委員長	児玉幸之助
委員	白石 豊和
〃	武田 栄喜

水資源対策特別委員会			
委員長	本田 生一	副委員長	白石 豊和
委員	武田 栄喜	委員	児玉幸之助
〃	佐藤 武文	〃	甲斐 節男
〃	後藤 巖	〃	後藤 三治
〃	佐伯 金也		

熊本県 後期高齢者 医療広域連合 議会議員	
牛嶋津世志	

令和5年 第2回6月定例会

諮問2件・報告1件・議案4件・決議1件を審議し、
全て原案のとおり可決しました。

人事案件

人権擁護委員の推薦について

令和5年9月30日で任期満了を迎える人権擁護委員として、高森地区から佐藤謙二氏、草部地区から後藤政藤氏を推薦する事に決定しました。

令和5年度一般会計補正予算(第2号)

7億832万5千円を追加

予算総額 66億3,957万3千円

基金活用事業

ONE PIECE×南阿蘇鉄道観光活性化実行委員会負担金

●ワンピース熊本復興プロジェクトの一環として、南阿蘇鉄道の全線再開を機に、人気漫画「ONE PIECE」と南阿蘇鉄道のコラボ列車を運行します。

【事業の目的】

熊本地震から7年3カ月ぶりとなる南阿蘇鉄道の全線再開を機に、人気漫画「ONE PIECE」と南阿蘇鉄道のコラボ列車を運行し、南阿蘇鉄道のファンのみならず、全世界のONE PIECEファンへ向けた創造的復興のPRを行うことにより、南阿蘇地域への観光誘致へ繋げる。

【事業内容】

令和4年に全額熊本県の負担によりONE PIECEコラボ列車を制作。
令和5年は運行に係る年間ロイヤリティ(著作権料)を熊本県1/2、高森町及び南阿蘇村それぞれ1/4を負担する。



事業費	補助額	南阿蘇鉄道復興応援基金	町負担
1,100万円	550万円	550万円	0円

未来のまちづくり事業継承基金活用事業



パパママ応援進学費用助成事業

●中学校入学者と高校進学者に対し就学支援金を給付します。

【事業の目的】

これまで、小学校の入学時にのみ給付していた「就学支援金（入学祝金）制度」を拡充し、子育て世代のライフステージに応じた切れ目ない支援を目的に、新たに町立中学校入学者及び高校進学者（町内学校卒業者に限る）に就学支援金（入学祝金）を給付する。

【給付額等】

- ・高森町立中学校 **10万円**
（義務教育学校後期課程進級者を含む）
 - ・高校進学者 **15万円**
（高森町立中学校及び義務教育学校卒業者に限る）
- ※小学校入学者についてはこれまで通り**5万円**給付。



事業費	未来のまちづくり事業継承基金	町負担
1,410万円	1,410万円	0円

事業名 (内容)	事業費	未来のまちづくり事業継承基金活用事業	町負担
パパママ応援子育てスタート用品レンタル事業 (ベビー用品のレンタルに係る費用を助成)	160万円	160万円	0円
子ども食堂運営支援事業 (子ども食堂の運営及び新規開設に係る経費を補助)	120万円 (45万円は県補助金)	75万円	0円
パパママ応援在宅育児支援事業 (自宅で子どもを保育する家庭に在宅育児支援手当を支給)	315万円	315万円	0円
パパママ応援入園祝い金支給事業 (新たに保育園等に入園した園児に対し入園祝い金を支給)	40万円	40万円	0円
パパママ応援0歳からの保育料等完全無償化事業 (保育園等に通うすべての園児の保育料及び副食費を無償化)	未確定	未確定	0円
パパママ応援修学旅行費用助成事業 (町内学校に在学する児童・生徒の修学旅行費を全額助成)	537万円	537万円	0円

水資源対策特別委員会の設置に関する決議

人口減少や集落の過疎化により、水道事業の持続性に様々な問題が生じていることを踏まえ、今後の水道事業の方向性について協議するため水資源対策特別委員会が設置されました。委員は議長を除く9名の議員で構成され、委員長に本田生一議員、副委員長に白石豊和議員が選出されました。

総務文教常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

◎未来のまちづくり事業継承基金活用事業について

質 6月定例会に上程されている議案であるが、本年度すでに行われている事業にも対応可能なのか？

答 補正予算成立後、

本年度実施された事業は適応可能とする。実施中の修学旅行はパパママ応援修学旅行助成事業で対応する。

◆委員会では新施策であり事業の拡充と次年度以降も同様な助成事業ができるように要望した。



高森中央小・東学園義務教育学校修学旅行

☆その他委員会の動き

- ・5月9日 初議会開催。総務文教常任委員5名を選出。その後、初の委員会を開催し、委員長・副委員長の選出をした。
- ・6月8日 常任委員会を開催。委員と所管職員と担当事務や主な事業の説明を受けた。

産業厚生常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

◎繰越明許費に係る繰越計算書の報告について

質 町道片山・下山線、男原線道路改良工事がなぜ年度内完了ができなかったのか？

答 農繁期を避けた事業開始や用地交渉に時間を要し、

入札時期が遅れた。気象状況により、計画通り工事ができなかった。

◆委員会では十分な期間を設け工事着手すべきと意見が出され、事業の進捗状況を確認すべく2件の現地確認を行った。



町道 男原線

・水資源対策特別委員会再設置を要望

☆その他委員会の動き

- ・5月9日 初議会開催。産業厚生常任委員5名を選出。その後、初の委員会を開催し、委員長・副委員長の選出をした。
- ・6月6日 常任委員会を開催。委員と所管職員と担当事務や主な事業の説明を受けた。

一般質問

国道325号線／265号線のネットワーク道路

高森町が選ばれる町になるため大事なルート



後藤 巖 議員

6人の熱弁

児玉幸之助 議員

町長 阿蘇に抜けるネットワーク道路の必要性を認識していただく

質問 国道265号線大戸ノ口から北のルートは、非常に脆弱な地盤の上に道があり、日ノ尾峠を抜けて阿蘇への道路要望活動を行ってきた。高森町の町民にとつても有意義なものになり、阿蘇全体の立ち位置を考えると非常に重要な道路になると思うがどう考えているのかお尋ねする。

き指定されている自治体は、産山(一部)、阿蘇市、高森町であり竹田市と協定を結んだ。他の自治体に救援、救護をする場合、高森町が核になる可能性が非常にある。その事態に対応する道路構想をもっておかねばならない。ビジョンを提案したところしっかりと理解していただいたのが熊本県である。だから地元の意見の醸成が必要であるし、議会としても、町としても要望を出し続けなければならぬ。チャンスは中九州横断道路が完成後、県や国の考えと高森町のビジョンがしっかりとできていくかが大事である。町民の皆さまが、阿蘇市へ抜けるWネットワークが必要なんだと認識していただく段階ではないかと考えている。

町長 3期目のマニフェストに国道325号線と265号線のWネットワーク道路を実現するため意見の醸成を掲げた。そして熊本県が28年ぶりに県広域道路基本計画を見直した。その中高森町を通る2路線が掲載された。今後は構想から一般広域道路へ上げて行かねばならない。南海トラフ地震が発生したと

き指定されている自治体は、産山(一部)、阿蘇市、高森町であり竹田市と協定を結んだ。他の自治体に救援、救護をする場合、高森町が核になる可能性が非常にある。その事態に対応する道路構想をもっておかねばならない。ビジョンを提案したところしっかりと理解していただいたのが熊本県である。だから地元の意見の醸成が必要であるし、議会としても、町としても要望を出し続けなければならぬ。チャンスは中九州横断道路が完成後、県や国の考えと高森町のビジョンがしっかりとできていくかが大事である。町民の皆さまが、阿蘇市へ抜けるWネットワークが必要なんだと認識していただく段階ではないかと考えている。

病児保育の今後

子育てに関する推進



町長 住みやすい町の課題として解決していく

質問 病児保育について今後のような検討をされるのか。

病児保育とは、子どもが病気の際に自宅での保育・見守りが困難な場合に、病院・保育所等において、病気の子どもを保育することで、病気がかかっている最中の病児、回復期の病後児、保育中に微熱を出すなどの体調不良児を一時的に保育するもので、これまでに町内で実施している施設はなく、利用に結びついていないのが現状である。

町長の病児保育の今後の見解は。

町長 病児保育については、政策集には、

開設を検討するべきでは

ないかと掲げている。現時点では人材確保が大きな課題と思う。今後は、ほかの自治体との共同実施も含めて、町独自の保育士、看護師の資格取得支援制度を作って、資格を取る人の後押し、更新の後押し、町で雇用を促進するような体制を取ればと考えている。妊娠・出産・子育てを希望する人が住みやすい町の課題として、病児保育というのを解決していく。同時に次の世代へ継続していくためには、資格を保持している方がこの町に住まれ、今までは違う規模感で後押しし、資格取得の支援をやっていくべき。町としてこれから5年、10年後に本当に厳しい局面を迎えると考えている。

町政を問う

こども・子育てを応援するための環境づくり

高森町のこども子育て政策について問う



町長 独自の施策と一体的な環境整備を行う

質問 こども未来係の事務分掌は。

福長 住民課

こども未来係は、4名体制(保健師1名)で、主に保育園関係、児童手当、母子福祉保健、予防関係、子育て支援センターなど、こども子育てに関する業務を担当する。

質問 本町のこども子育て政策の基本理念は。

町長 第2期たかもり新風まるプランの中で、

家庭と地域とともに支えあい心豊かなこどもを育む町づくりを基本理念としている。こどもの幸せを守る町、妊娠出産子育てを希望する人が住みやすい町の構築を目指す、こどもと、子育てをする人への支援を充実することを政策集に掲げている。

質問 本町のこども子育て環境の整備は。

町長 若い世代が希望どおりに結婚し、希

望する誰もがこどもを産み育てることができるよう独自の環境整備を行う。経済的支援としては、今回の補正予算に、パパママ応援事業を計上している。子育て支援センターをはじめ一体的な環境整備を行う予定であり、今後全体的な構想を提示する。現在、阿蘇フォークスクールの所有となつて

いる旧上色見小学校を高森町の教育支援センターとして活用したいので、町に返還していただきたいと考えている。

質問 本町のこども計画の策定スケジュールは。

町長 本来は、国県の大綱や計画が作られた後、町のこども計画を策定するところだが、町独自の施策も含めた計画を早く実行するため前倒しして策定する必要がある。

佐藤武文議員

6人の熱弁

甲斐節男議員

道路の進捗状況

四つ角交差点の拡幅は

町長 現在実現には至っていない

質問 県道の停車場線は、駅前から四つ角を通って別所付近まで県道である。四つ角の中央線(旧国道)との交差点道路の拡幅はどうなっているのか。下町駐在員をして

いた時、付近の住宅解体に伴い、道の拡幅を進めて行くというふうに思っていたので、どのようになっているのか進捗状況を教えていただきたい。

町長 今まで、何十年も、見通しの悪さや幅員の狭さで大変ご不便をかけている。この交差点は、県道と町道の交差点、そして交通量が他の交差点と比べて圧倒的に多いのが特徴であり、阿蘇市町村会を通して熊本県へ要望を行っている。

高森町としては、市町村会を通して、四つ角の交差点の拡幅・拡張の要望をしているが、現在実現には至っていない。町としては最重要箇所の一つとして、位置づけてい

なぜ実現できていないかというと、用地の課題がある。用地の確保である。そこだけではなく他の用地も、町の方が確保しないと、もしくは許可を得ないと、この工事が正式に進めることはできないと思っている。

できれば今年度中、早い段階で県に「用地確保ができる」という答えを出して、熊本県の県道事業として事業化を強力に進めて行きたいと思っている。

高森町総合計画後期基本計画について

町政の展開は



町長 引き続き政策を継続する

①観光立町を実現する町づくりは、南鉄復旧により利用者の利便性向上になった。熊本県新道路計画に2路線高森が含まれ意義深い。②町の情報化基盤は、防災アプリ導入により町民の福祉向上につながった。③財政改革は、自主財源が獲得でき、町民と地域、寄付された方の意向に沿った展開ができた。④地域産業が元気な町づくりは、スピード感をもってできた。⑤元

気な教育による町づくりは、オンラインで両陛下の視察があった。⑥健康の政策は、町内47カ所の公民館が整備でき、介護予防拠点として期待する。令和元年から4年の町長政策は継続する。

質問 高森町総合計画後期基本計画の達成状況は。

推進課 高森町総合計画後期基本計画には6つの基本目標があり、目標値総数で104、4年度末の達成数は、55項目(達成率52%)、1つの中止以外残り継続して取り組んでいる。

質問 町長の総括は。

町長 ①観光立町を実現する町づくりは、南鉄復旧により利用者の利便性向上になった。熊本県新道路計画に2路線高森が含まれ意義深い。②町の情報化基盤は、防災アプリ導入により町民の福祉向上につながった。③財政改革は、自主財源が獲得でき、町民と地域、寄付された方の意向に沿った展開ができた。④地域産業が元気な町づくりは、スピード感をもってできた。⑤元

都市部への一極集中が進んでいる。移住定住政策、教育子育て環境整備、経済的支援等を財源の検討もしながら、町民にも応援していただきたい。

町長 都市部への一極集中が進んでいる。移住定住政策、教育子育て環境整備、経済的支援等を財源の検討もしながら、町民にも応援していただきたい。

質問 高森町の法定外公共物の認識、現状の維持管理、今後については。

政林課 対象は、里道、農道、水路等が該当する。管理は、高森町法定外公共物管理条例に基づき行っている。今後、町が全ての維持管理は財政面で困難である。要望、相談には親身に対応する。

高森町の将来像について

人口減少に対する構想は



町長 国策ではなく町施策としての環境づくりを

想定されている人口減少をさらに上回るスピードで人口は減っている。一人暮らしの高齢者が多く、生産人口が少なくなっている現象は高森だけの話ではない。起爆剤としては、国策ではなく、今後は子どもを産み育てる、そして育てて行く環境づくりをやって行き、ここにしっかりと肉付けをして行きたい。

二種、三種鉄道は国土交通大臣の許可が必要となるので厳しいものとなる。鉄道敷設費用は1m当り80、100万円程かかる。提案の方向性としては有効性もあるかと考える。実現出来ない事はないと思う。

質問 人口減少が進むと言われ、実際のその通りになり若い世帯が減って、人口減少は避けられない。自衛隊基地を誘致する等、起爆剤として考えている構想等あれば教えていただきたい。

町長 想定されている人口減少をさらに上回るスピードで人口は減っている。一人暮らしの高齢者が多く、生産人口が少なくなっている現象は高森だけの話ではない。起爆剤としては、国策ではなく、今後は子どもを産み育てる、そして育てて行く環境づくりをやって行き、ここにしっかりと肉付けをして行きたい。

町長 想定されている人口減少をさらに上回るスピードで人口は減っている。一人暮らしの高齢者が多く、生産人口が少なくなっている現象は高森だけの話ではない。起爆剤としては、国策ではなく、今後は子どもを産み育てる、そして育てて行く環境づくりをやって行き、ここにしっかりと肉付けをして行きたい。

質問 役場庁舎を含むエリア開発を考えているか。

町長 二種、三種鉄道は国土交通大臣の許可が必要となるので厳しいものとなる。鉄道敷設費用は1m当り80、100万円程かかる。提案の方向性としては有効性もあるかと考える。実現出来ない事はないと思う。

町長 二種、三種鉄道は国土交通大臣の許可が必要となるので厳しいものとなる。鉄道敷設費用は1m当り80、100万円程かかる。提案の方向性としては有効性もあるかと考える。実現出来ない事はないと思う。

町長 二種、三種鉄道は国土交通大臣の許可が必要となるので厳しいものとなる。鉄道敷設費用は1m当り80、100万円程かかる。提案の方向性としては有効性もあるかと考える。実現出来ない事はないと思う。

町長 二種、三種鉄道は国土交通大臣の許可が必要となるので厳しいものとなる。鉄道敷設費用は1m当り80、100万円程かかる。提案の方向性としては有効性もあるかと考える。実現出来ない事はないと思う。

町長 二種、三種鉄道は国土交通大臣の許可が必要となるので厳しいものとなる。鉄道敷設費用は1m当り80、100万円程かかる。提案の方向性としては有効性もあるかと考える。実現出来ない事はないと思う。

町長 二種、三種鉄道は国土交通大臣の許可が必要となるので厳しいものとなる。鉄道敷設費用は1m当り80、100万円程かかる。提案の方向性としては有効性もあるかと考える。実現出来ない事はないと思う。

町長 方向性としては言われる通り。庁舎付近エリアを強化していかなくてはならないと思っている。高森中央学園構想では、小学校中学校を統一する。役場エリアから現在の中学校、高校、子ども公園を含めて一つの大きなエリアに。その中で行政の施策を展開して行きたい。同時に住居エリアは中川原団地を含めて建て替え、移住定住の住宅として考え、民間の投資を促し良い方法を検討していかなければならないと思っている。

令和5年 第2回臨時会

承認8件・同意2件・議案1件を審議し、
全て原案のとおり可決しました。

令和4年度一般会計補正予算(第11号)専決を承認

1億3,821万1千円を追加

予算総額 105億2,726万5千円

専決とは：本来は議会が議決すべき事件を、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに
例外的に町長が議決の代わりに意思決定すること。後に議会への報告と承認が必要。

令和5年度一般会計補正予算(第1号)

8,124万8千円を追加

予算総額 59億3,124万8千円

国・県補助活用事業

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

●令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備を行います。

【令和5年度「春」接種分】

(対象者) 従来型ワクチンを2回以上接種した、町内に住民登録のある以下のいずれかに該当する方

- ・65歳以上の高齢者
- ・5～64歳の基礎疾患を有する方その他重症化リスクが高いと医師が認める方
- ・医療機関、高齢者・障がい者施設等の従事者

(接種時期) 令和5年6月～令和5年7月

【令和5年度「秋」接種分】

(対象者) 従来型ワクチンを2回以上接種した、町内に住民登録のある5歳以上の方

(接種時期) 令和5年9月以降(予定)

事業費	補助額*	一般財源
4,867万円	4,867万円	0円

※補助金については上限額を超えた場合は一般財源での対応となります。



本田 生一議員が 阿蘇広域行政事務組合議会議長に就任されました

● 阿蘇広域行政事務組合とは

常備消防、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、一般廃棄物処理施設、火葬施設、検診業務を共同処理する阿蘇郡市（1市3町3村）で構成された一部事務組合。

● 阿蘇広域行政事務組合議会とは

構成市町村から選出された23名の議会議員により構成されており、阿蘇広域行政事務組合の予算や運営について審議している。



阿蘇広域行政事務組合議会議長就任あいさつ

阿蘇広域行政事務組合議会議長に就任いたしました本田生一です。この度の議長選挙におきまして、議員各位のご推挙により議長に就任することになりました。

阿蘇広域行政事務組合議会の議長として、職責を自覚し、円滑な議会運営に努めるよう最善の努力を尽くす所存でございます。今後におきましては、議員各位と協議し、執行部と連携を取りながら、議論を交わし、組合の更なる前進と発展の為、一生懸命頑張っておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、議長就任のご挨拶とさせていただきます。

議会の動き (5月1日～6月30日)

5月	12日(金)	阿蘇郡町村議長会総会・阿蘇市町村議長会総会
	23日(火)	町村議会議長・副議長研修会
	24日(水)	県関係国会議員への要望活動
	30日(火)	主要地方道矢部阿蘇公園線整備促進期成同盟会総会
		中九州・地域高規格道路推進期成会（熊本県側）令和5年度総会
6月		国道57号整備促進期成会成会総会
	2日(金)	町村議会議長研修会及び臨時総会
	18日(日)	熊本57号滝室坂トンネル貫通式
	26日(月)	阿蘇広域行政事務組合議会全員協議会・臨時会

町民の声



進学・就職の為一時期地元草部を離れていました。20年程前に、都会に見切りをつけ、Uターンし、現在両親と3人で、米・トマト農家とライスセンターを営んでいます。

また、帰郷後は、消防団活動や伝統文化継承の為、地元の神楽保存会に在籍しています。

どの団体も若手の人材が、不足しており、神楽保存会にいたっては、15年程前から私が1番の年少者です。では何故、このような現状になったのか？

私的結論を申しますと、1次産業だけでは、将来の展望が、ままならないからです。若者は、希望を見いだす為、都会に出るのです。過去の私もそうでしたが…。逆に述べますと、未来図が画ければ、各地域を担う若人の人材が残り、現れるはずですが。行政に携わる皆様には、私の考えをふまえ、より良い町づくりを、切に願います。



小崎 信治さん
(草部・灰原)



鳥越 裕美さん
(河原・市野尾)

インターネットでのんびりできる場所を探していて、偶然「高森」を見つけ、平成18年から河原に住んでいます。

住み始めは、知り合いもなく、静かすぎて夜などは少し怖いくらいでしたが、集落のお年寄りの方のお家に遊びに行かせてもらい昔話などを聞いたり、お祭りや行事に参加するようになって少しずつ周りの人との関係を広げていきました。

ちょっと理解できなかった方言もありましたが言い方を変えてもらったりして慣れてきました。

また、同じ年代の女性の人とも、地域活動などを通じて交友の幅を広げ、旅行などにも行くようになり楽しみも増えました。

これからも、楽しいと思うことをどんどんやって、自分の出来る範囲で、周りの人の手助けをしていけたらと思います。

令和5年度 町村議会議長・副議長研修会

熊本県内町村議会正副議長による国会議員への要望

5月23日 東京都東京国際フォーラム

5月24日 東京都ホテルグランドアーク半蔵門

議長就任後すぐに全国町村議会議長会主催の、町村議会議長・副議長研修会に本田生一副議長と共に参加してきました。

3人の講師による講演

●大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭 氏

演題 「町村議会の課題と今後の展望について」

主な内容として、政治劣化（投票率の低下など）・議会改革の進め・なりて不足解消方策の誤解など。

●NPO法人ブロードバンドスクール協会理事 若宮 正子 氏

演題 「町村こそデジタルを - 住民のためのデジタル活用法 - 」

講師の若宮さん御年88歳でおられます。58歳からパソコンを始める。海外のIT先進国を視察研究、日本での講演・指導など幅広く活動。

●朝日新聞社コンテンツ編成本部次長 三島 あずさ 氏

演題 「地方議会とハラスメント」

出産したらジェンダー問題への気づき。女性議員へのハラスメント行為。朝日新聞ジェンダー平等宣言。議会ジェンダー平等宣言（女性議員を増やす）

各講演の内容を理解して議会運営に反映させる。

24日は県関係国会議員の先生方へ各町村の要望書を手渡ししてきました。

高森町関係は、南阿蘇鉄道株式会社への財政支援について。道路網の整備促進について、県道高森停車場線の早期改良整備・県道竹田・五ヶ瀬線未改良区間の早期完成・県道津留柳線未改良区間の早期完成を要望。

以上、正副議長研修・国会議員への要望書提出の報告です。

高森町議会議長 牛嶋 津世志

編集後記

改選後の議会臨時会におきまして、議会広報特別委員長に就任しました後藤 巖です。議会の活動を分かりやすく伝え、町民の皆さまから議会に対する意見をいただきながら、手にとって貰える広報誌の作成に務めてまいります。

議員歴も年齢も若い委員一同ですが、その感性を生かし、新しい紙面作りを行います。

町民の皆さま方には、今後の広報活動にご理解とご協力を宜しくお願い致します。

後藤 巖

議会広報特別委員会

議 長 牛嶋津世志（発行責任者）

委 員 長 後藤 巖 委 員 白石 豊和

副委員長 児玉幸之助 委 員 武田 栄喜

